

平成31年度 新宿区立西新宿中学校 特別活動 全体計画

<ul style="list-style-type: none"> ○教育基本法 ○学校教育法 ○学習指導要領 ○東京都教育委員会教育目標 ○新宿区教育委員会教育目標 	<p>○学校の教育目標 人間尊重の精神を基盤とし、国際的視野に立ち、真理と平和を求め、人間性豊かな人を育成する。</p> <p>ア 自ら鍛え心身ともに健康な人 イ 自ら考え進んで実行する人 ウ 自ら学び続ける人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学校・家庭・地域の実態 ○地域の期待や願い ○保護者の期待や願い ○生徒・家庭・地域社会の実態 ○時代や社会の要請
---	---	--

○特別活動の目標（『学習指導要領』文部科学省 平成20年3月）
望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。学級活動、生徒会活動、学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校における、集団や社会の一員としてよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てるとともに、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

<p>○本校における特別活動の重点（平成31年度 本校教育課程 第1表） よりよい人間関係を築く力、社会に参画する力や自治能力を育てるために、一貫性のある指導を通して、生徒規律の徹底を図り、規範意識を育て、場に応じたルールやマナーを確実に守ることができる生徒を育成する。</p>	<p>○生徒の実態（学校評価など） 運動会や学芸発表会に対する取組は熱心で、部活動も年々、積極的に参加する生徒が増えている。ただし、行事で身に付けた力や、気付いた自分自身の課題を自覚し、普段の言動に生かそうとすることに課題が見られる。</p>
<p>○具体的な重点項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ①運動会・学芸発表会における、協力関係を通じた達成感の実感。生徒相互の絆の深化。 ②部活動における、体力・技能の向上に伴う、一人一人の学校生活内での居場所の確保。 ③地域協働学校運営協議会委員との連携に基づき、青少年育成委員会や町会等の活動に、参加、協力することによる、地域に学び、地域に奉仕する態度の育成。 	

○各学年における具体的な確かな学力の育成の重点（学年経営案）

1学年	行事・委員会や班活動の取り組みの中で、学年を動かすリーダーの育成を図る。また、一人一人に集団の一員としての自覚と責任を役割分担させながら育成する。
2学年	行事・委員会や日々の班活動の取り組みの中で、学年をプラスの方向で動かせるリーダーの育成を図る。また、一人一人に集団の一員としての自覚をもたせるために、役割分担を工夫して責任をもたせる。
3学年	自分のクラスについて集団の力と仲間との関係を意識し、クラスや仲間のために切磋琢磨しながら絆を深め合える学級集団を形成していく。
E組	学校行事や生徒会活動を通し、通常の学級との交流や共同学習を推進して、好ましい人間関係を育てるとともに豊かな人間性を育む。

○各教科における具体的な確かな学力の育成の重点

国語	発表に向けてグループで取りまわせることを通して、見通しをもって協働的に学ぶ姿勢を育む。	美術	学芸発表会での作品展示を通して、その達成感をさらに高いものにさせる。
社会	効率と公正等の考えを用いて社会集団の一員として問題解決方法を見出す力を養う。	保健体育	運動会において、上級生を模範とした行事づくりのなかで、達成感・充実感を実感させる。
数学	互いに高め合おうとする人間関係を築き、確かな学力の定着を図る。	技術・家庭	デジタル作品の設計・制作の考えを用いて、学習発表会の発表方法を向上させる。
理科	学芸発表会で作品を展示し、鑑賞することで、学習を深めさせる。	英語	スピーチ発表のテーマを工夫し、自他を認め合う態度を養い、発表を通して達成感を味わわせる。
音楽	学芸発表会を通してクラス合唱に意欲的に参加し、集団活動や自己の生活の充実と向上に取り組む。		